



基本情報

- ▶ 所在
島根県奥出雲町
- ▶ 設立
2018年
- ▶ 栽培作物
キャベツ（GAP認証）
にんじん・ほうれんそう
（有機JAS認証、GAP認
証）
そば（有機JAS認証、GAP認
証）
- ▶ 栽培形態
露地、施設栽培

**奥出雲町の伝統である和牛の放牧（蹄耕法）を利用した
土づくりにより、有機JAS認証やGAP認証の野菜を栽培。**

き
っ
か
け

2013年、ふるさと島根定住財団の制度を利用し、
当時は珍しかったIターン就農に挑戦。

取
組
概
要

▶ 平安時代からの伝統である和牛を活用した生産方法（蹄耕法）

農地は昭和58年に農林水産省の国営開発事業で造成されたいわゆる開発農地であり、土質は真砂土。土づくりには、牛の餌として活用でき、キャベツの根こぶ病対策に有効とされる緑肥作物であるライ麦、えんぱくを使用。トラクターの燃料代等が節約でき、牛の飼育業者は飼料代が抑えられるため、WIN-WINの関係性を構築。

▶ 有機野菜の栽培により、高付加価値での販売が可能。

放牧による土づくりや中国山地上流の水を使用することにより、有機JASやGAPの認証取得にも有利。地域の小売店のほか、東京や大阪にも販路を拡大している。

▽坂根の延命水▽

この地域には、冬は暖かく、夏には冷たい湧き水として地域で親しまれている名水「坂根の延命水」があり、延命水の上流から来る中国山地のミネラル豊富な地面で濾過された水が、野菜の生育に貢献している。



写真の引用：株式会社うちの子は夢中です HP

農林水産省
中国四国農政局